平 成 27年 度

事　業　報　告　書

学 校 法 人　平 成 医 療 学 園

目　　次

I.　法人の概要 …… 1
1.　名称・所在地 …… 1
2.　建学の理念 …… 1
3.　沿革 …… 1
4.　設置する学校 …… 2
5.　学生数 …… 2
(1)　入学定員・入学者数等 …… 2
(2)　入学者数の推移 …… 4
(3)　専任教員1人当たりの学生数 …… 5
6.　理事・監事・評議員 …… 6
7.　組織 …… 7
8.　教職員数 …… 8
(1)　教職員数 …… 8
(2)　年齢別専任教員数 …… 8
(3)　職階別専任教員数 …… 9
(4)　専任教員・非常勤教員比率 …… 9
II.　事業の概要 …… 10
1.　基本的な方針 …… 10
2.　事業の実施状況 …… 10
(1)　宝塚医療大学 …… 10
(2)　平成医療学園専門学校 …… 12
(3)　横浜医療専門学校 …… 14
(4)　なにわ歯科衛生専門学校 …… 17
(5)　法人本部 …… 19
3.　理事会・評議員会の開催状況 …… 20
4.　学位又は称号 …… 24
(1)　取得可能な学位又は称号 …… 24
(2)　学位授与数及び授与率 …… 25
5.　学生生徒等納付金 …… 25
6.　卒業及び就職等の状況 …… 28
(1)　卒業者数・就職者数・進学者数等 …… 28
(2)　主な就職先 …… 29
7.　国家試験の受験状況 …… 30
8.　退学者数・除籍者数・留年者数・中退率 …… 31
(1)　退学者数 …… 31
(2)　除籍者数 …… 31
(3)　留年者数 …… 31
(4)　中退率 …… 31
9.　社会人学生・留学生・海外派遣学生数 …… 32
(1)　社会人学生数 …… 32
(2)　留学生数 …… 32
(3)　海外派遣学生数 …… 32
III.　財務の概要 …… 33
1.　学校法人会計基準 …… 33
2.　各科目の説明 …… 33
3.　財政運営 …… 36
4.　資金収支計算書 …… 37
5.　事業活動収支計算書（旧・消費収支計算書） …… 38
6.　貸借対照表 …… 39
7.　基本金 …… 40
8.　財産目録 …… 41
9.　主な財務比率 …… 43
10.　施設設備の整備状況 …… 44

I. 法人の概要

1 名称・所在地

名　　称	学校法人平成医療学園
理事長名	岸野　雅方
所　在　地	〒531-0072　大阪府大阪市北区豊崎7-7-17
電話番号	06-6375-7773
認可年月日	平成13年　3月　30日 大阪府知事認可　（準学校法人） 平成22年　10月　29日 文部科学大臣認可（学校法人）

2 建学の理念

学校法人平成医療学園は、平成12年4月に「全国柔整鍼灸協同組合（現：公益社団法人全国柔整鍼灸協会）」が母体となり、柔道整復、はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧の施術を行っている治療家たちが、自らの後継者を自らの手で育てようという理念に基づき、厚生省（現：厚生労働省）から柔道整復師養成施設の認可を受け、「平成柔道整復専門学院」を開設したことに始まります。

本学園は、「徳義の涵養と人間性尊厳の実践を理念とし、医療人たる社会的責務を自覚せしめ、国際社会に伍して恥じぬ恒心をもつ、有徳の人材を育成する。」を目的として、発足当時から産・学が連携し、社会で必要とされる高度な知識と技術を身に付けた人間性豊かな「次代の医療人」の育成に努めています。

3 沿革

2000(平成12)年　4月	厚生大臣から柔道整復師養成施設の認可を受け、「平成柔道整復専門学院」を開設
2001(平成13)年　4月	大阪府知事から準学校法人の認可を受け、併せて、「平成柔道整復専門学院」を「平成医療学園専門学校」に名称変更
2002(平成14)年　4月	「平成医療学園専門学校」に鍼灸師科を設置
2003(平成15)年　4月	「平成スポーツトレーナー専門学校」開設
2005(平成17)年　4月	「横浜医療専門学院」開設
2006(平成18)年　4月	「平成医療学園専門学校」に東洋療法教員養成学科を設置
2007(平成19)年　4月	「横浜医療専門学院」を「横浜医療専門学校」に名称変更
2009(平成21)年　4月	「大阪産業大学附属歯科衛生士学院専門学校」を学校法人大阪産業大学から経営移管、校名を「なにわ歯科衛生専門学校」に名称変更
2010(平成22)年　3月	「平成スポーツトレーナー専門学校」廃校
2010(平成22)年　10月	文部科学大臣から「宝塚医療大学」設置認可
2011(平成23)年　4月	「宝塚医療大学」開学
2014(平成26)年　4月	「平成医療学園専門学校」に文化・教養専門課程日本語学科を設置

4 設置する学校

（平成28年5月1日現在）

学校名	学校長名	所在地・電話番号	認可年月日
宝塚医療大学 保健医療学部 理学療法学科 柔道整復学科 鍼灸学科	岸野　雅方	〒666-0162 兵庫県宝塚市花屋敷 緑ガ丘1 TEL：072-736-8600	平成22年10月29日
平成医療学園専門学校 医療専門課程 柔道整復師科 鍼灸師科 東洋療法教員養成学科 文化・教養専門課程 日本語学科	北野　吉廣	〒531-0071 大阪府大阪市北区 中津6-10-15 TEL：06-6454-1500	平成13年3月30日
横浜医療専門学校 医療専門課程 柔道整復師科 鍼灸師科	吉田　重光	〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区 金港町9-12 TEL：045-440-1750	平成18年10月20日
なにわ歯科衛生専門学校 医療専門課程 歯科衛生士学科	雫石　　聰	〒530-0011 大阪府大阪市北区 大深町2-179 TEL：06-6375-1400	平成20年12月2日

5 学生数

(1) 入学定員・入学者数等

◆ 宝塚医療大学

（平成28年5月1日現在、単位：名）

学科	入学定員	入学者数	収容定員	収容現員	収容定員充足率
理学療法学科	40	41	160	183	114.4%
柔道整復学科	60	48	240	217	90.4%
鍼灸学科	60	22	240	77	32.1%
合　　計	160	111	640	477	74.5%

◆　平成医療学園専門学校

（平成28年5月1日現在、単位：名）

学科	入学定員	入学者数	収容定員	収容現員	収容定員充足率
柔道整復師科 昼間Ⅰ部	60	59	180	127	70.6%
柔道整復師科 昼間Ⅱ部	60	18	180	85	47.2%
柔道整復師科 夜間Ⅲ部	30	6	90	44	48.9%
鍼灸師科 昼間Ⅰ部	30	25	90	70	77.8%
鍼灸師科 昼間Ⅱ部	30	16	90	60	66.7%
鍼灸師科 夜間Ⅲ部	30	12	90	56	62.2%
東洋療法教員養成学科	10	2	20	5	25.0%
医療専門課程　小計	250	138	740	447	60.4%
日本語学科 医療福祉系1年コース	20	0	20	0	0.0%
日本語学科 進学1.5年コース	20	7	40	7	17.5%
日本語学科 進学2年コース	20	28	40	28	70.0%
文化・教養専門課程　小計	60	35	100	35	35.0%
合　　計	310	173	840	482	57.4%

（注）日本語学科 進学1.5年コースの入学者数は平成27年10月入学者を記載。

◆　横浜医療専門学校

（平成28年5月1日現在、単位：名）

学科	入学定員	入学者数	収容定員	収容現員	収容定員充足率
柔道整復師科 昼間	60	55	180	159	88.3%
柔道整復師科 夜間	60	19	180	87	48.3%
鍼灸師科 昼間	60	25	180	79	43.9%
鍼灸師科 夜間	60	14	180	40	22.2%
合　　計	240	113	720	365	50.7%

◆　なにわ歯科衛生専門学校

（平成28年5月1日現在、単位：名）

学科	入学定員	入学者数	収容定員	収容現員	収容定員充足率
歯科衛生士学科 昼間	72	80	216	214	99.1%
歯科衛生士学科 夜間	36	40	108	109	100.9%
合　　計	108	120	324	323	99.7%

(2) 入学者数の推移

◆ 宝塚医療大学

（各年度5月1日現在、単位：名）

学科	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
理学療法学科	42	54	43	41
柔道整復学科	60	63	64	48
鍼灸学科	15	13	27	22
合　　計	117	130	134	111

◆ 平成医療学園専門学校

（各年度5月1日現在、単位：名）

学科	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
柔道整復師科	111	85	112	83
鍼灸師科	61	51	78	53
東洋療法教員養成学科	1	3	2	2
医療専門課程　小計	173	139	192	138
日本語学科	－	4	0	35
文化・教養専門課程　小計	－	4	0	35
合　　計	173	143	192	173

◆ 横浜医療専門学校

（各年度5月1日現在、単位：名）

学科	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
柔道整復師科	112	97	88	74
鍼灸師科	52	42	44	39
合　　計	164	139	132	113

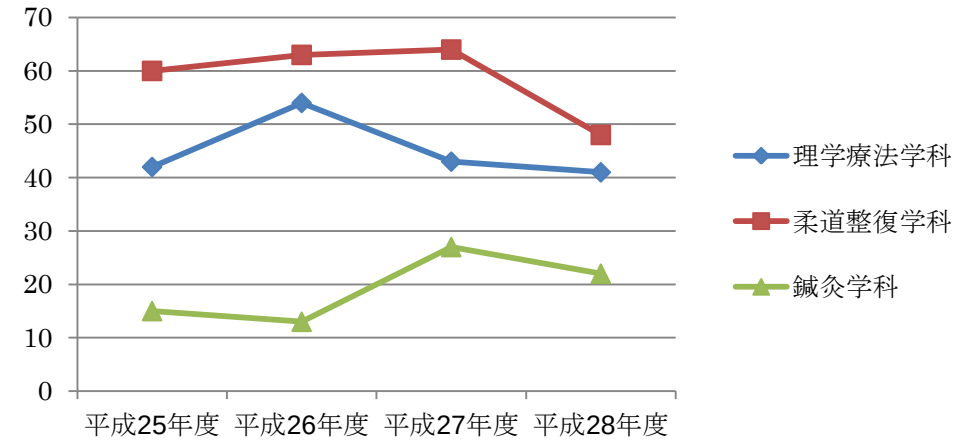
◆ なにわ歯科衛生専門学校

（各年度5月1日現在、単位：名）

学科	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
歯科衛生士学科	120	118	118	120
合　　計	120	118	118	120

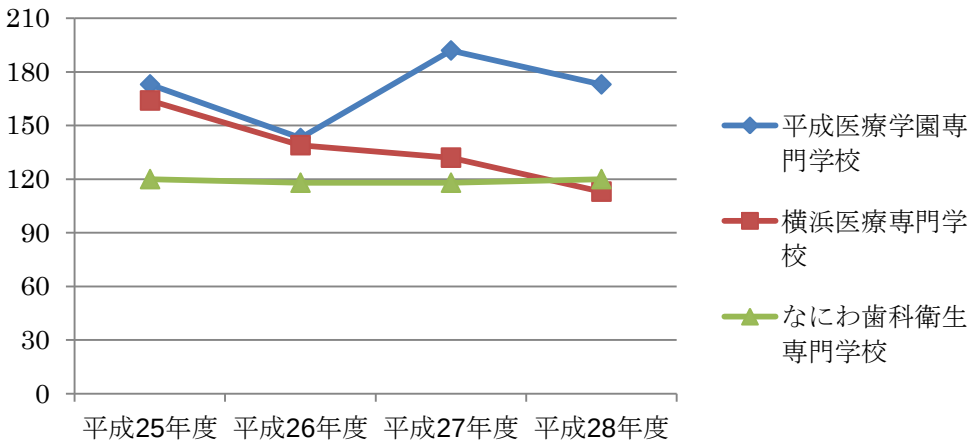
宝塚医療大学　入学者数の推移

（単位：名）



各専門学校　入学者数の推移

（単位：名）



(3) 専任教員1人当たりの学生数

◆　宝塚医療大学

（平成28年5月1日現在、単位：名）

学科	学生数	専任教員数	専任教員1人当たりの学生数
理学療法学科	183	19	9.6人
柔道整復学科	217	17	12.8人
鍼灸学科	77	15	5.1人
合　　計	477	51	9.4人

（注1）理学療法学科専任教員には学長を含む。

（注2）専任教員には助手を含む。

6 理事・監事・評議員

◆ 理事・監事

（平成28年5月1日現在）

	氏名	就(重)任年月	主な現職等
理事長	岸野　雅方※	平成27年4月	宝塚医療大学学長 公益社団法人全国柔整鍼灸協会理事長 学校法人福寿会理事長
常務理事	岸野　政子※	平成27年4月	
理事	雫石　聰	平成28年4月	なにわ歯科衛生専門学校校長
	岡田　光司※	平成27年4月	なにわ歯科衛生専門学校顧問
	小原　教孝※	平成27年4月	宝塚医療大学教員・統括長
	中谷　裕之※	平成27年4月	平成医療学園専門学校統括長
	浅谷　佐智子	平成27年4月	会社社長
	榊　　典夫	平成27年4月	宝塚医療大学教員
	土江　直一	平成27年4月	団体職員
	西尾　明憲	平成27年4月	平成医療学園専門学校教員
	松川　保※	平成27年4月	平成医療学園法人事務局長
	吉田　洪先※	平成27年4月	横浜医療専門学校教員・統括長
監事	吉田　明代	平成27年4月	
	相馬　達雄	平成28年3月	弁護士
定数	理事10人以上15人以内、監事2人以上4人以内		

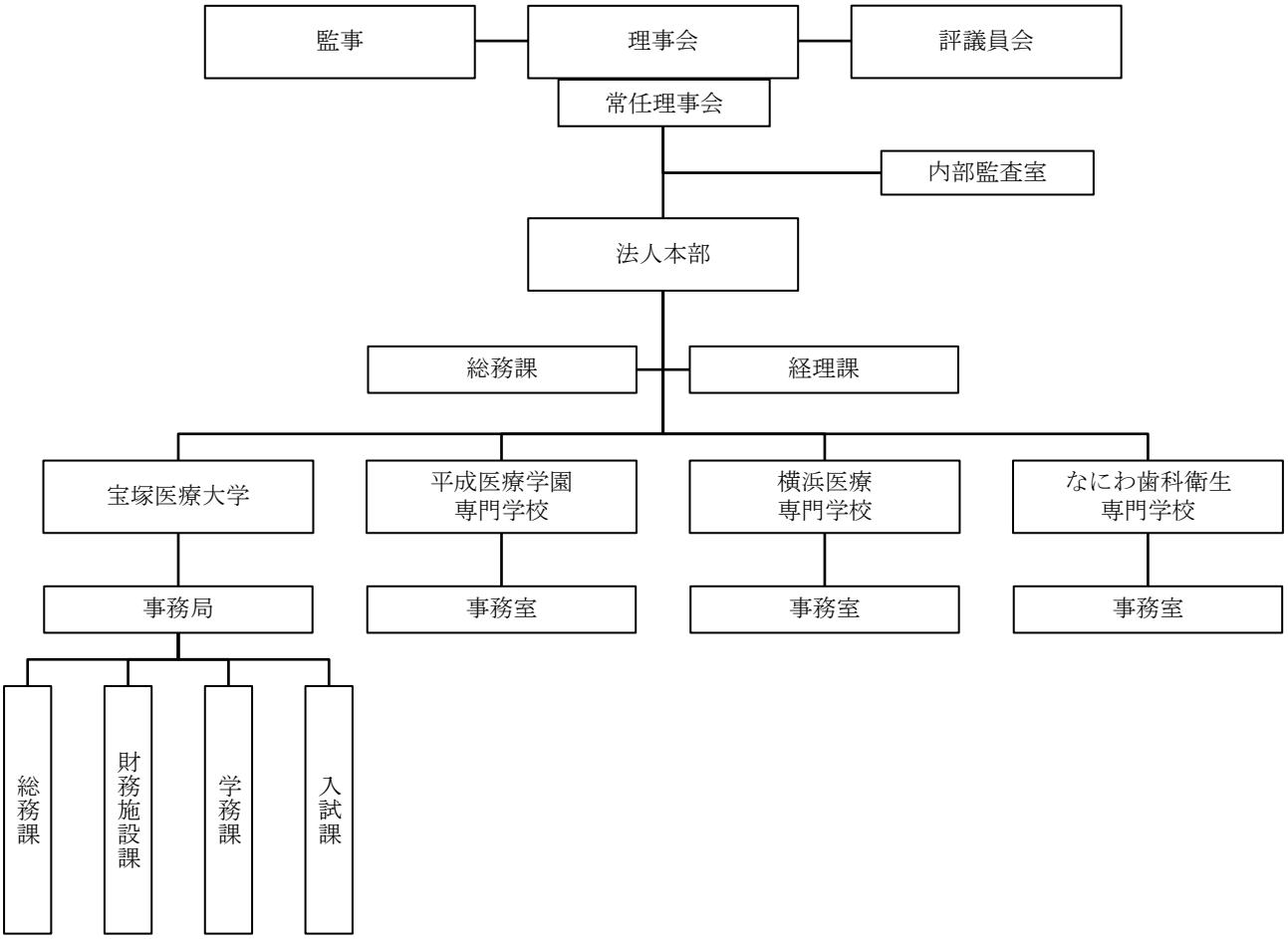
（注）※印は常任理事会理事。

◆ 評議員

（平成28年5月1日現在）

	氏名	就(重)任年月	氏名	就(重)任年月
評議員	内野　勝郎	平成27年4月	岸野　雅方	平成27年4月
	小原　教孝	平成27年4月	北野　吉廣	平成27年4月
	岸野　佑宣	平成27年4月	榊　　典夫	平成27年4月
	雫石　聰	平成27年4月	佐原　道啓	平成27年4月
	髙木　保子	平成27年4月	塚原　康夫	平成27年4月
	梶原　知子	平成27年4月	土江　直一	平成27年4月
	清水　公美子	平成27年4月	中谷　裕之	平成27年4月
	竹本　晋史	平成27年4月	西尾　明憲	平成27年4月
	西口　佐智子	平成27年4月	西尾　頼政	平成27年4月
	松本　尚純	平成27年4月	林　　康蔵	平成27年4月
	浅谷　佐智子	平成27年4月	松川　保	平成27年4月
	岡田　光司	平成27年4月	丸毛　伊佐子	平成27年4月
	勝浦　政夫	平成27年4月	吉田　洪先	平成27年4月
	岸野　政子	平成27年4月		
定数	23人以上31人以内			

7 組織


監事
理事会
評議員会
常任理事会
内部監査室
法人本部
総務課
経理課
宝塚医療大学
平成医療学園
専門学校
横浜医療
専門学校
なにわ歯科衛生
専門学校
事務局
事務室
事務室
事務室
総務課
財務施設課
学務課
入試課

8 教職員数

(1) 教職員数

（平成28年5月1日現在、単位：名）

	専任		非常勤者等	
	教員	職員	教員	職員
法人本部	0	8	0	1
宝塚医療大学	51	18	42	13
平成医療学園専門学校	25	17	72	7
横浜医療専門学校	19	15	36	3
なにわ歯科衛生専門学校	16	7	91	1
合　　計	111	65	241	23

（注）専任教員には助手を含む。

(2) 年齢別専任教員数

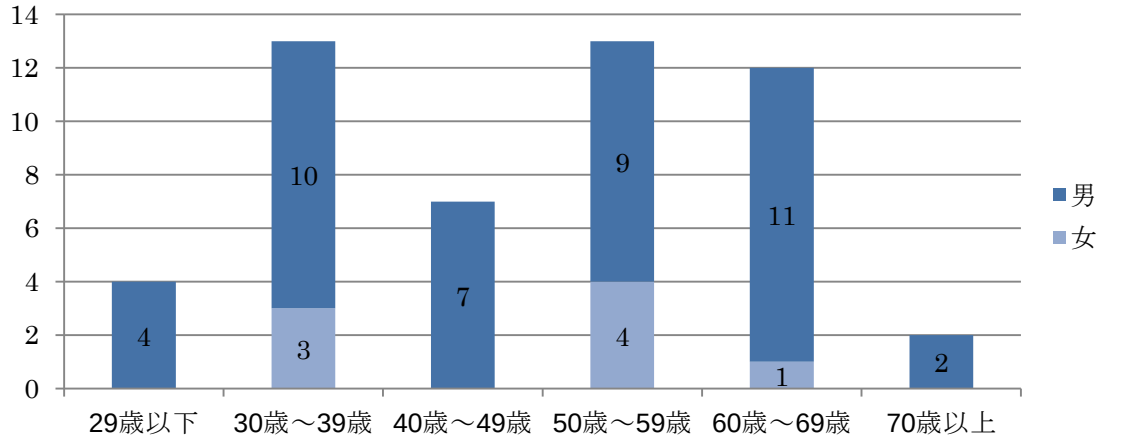
◆ 宝塚医療大学

（平成28年5月1日現在、単位：名）

	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
男	4	10	7	9	11	2	43
女	0	3	0	4	1	0	8
合　計	4	13	7	13	12	2	51

年齢別大学専任教員数

（単位：名）



(3) 職階別専任教員数

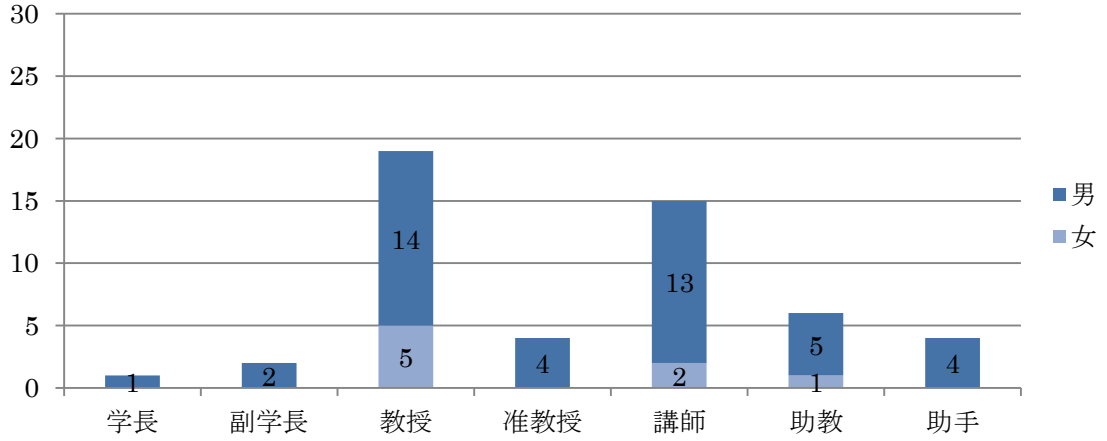
◆ 宝塚医療大学

（平成28年5月1日現在、単位：名）

	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計
男	1	2	14	4	13	5	4	43
女	0	0	5	0	2	1	0	8
合　計	1	2	19	4	15	6	4	51

職階別大学専任教員数

（単位：名）



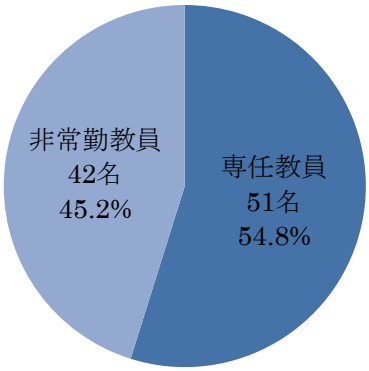
(4) 専任教員・非常勤教員比率

◆ 宝塚医療大学

（平成28年5月1日現在、単位：名）

	人数	割合
専任教員	51	54.8%
非常勤教員	42	45.2%
合　　計	93	100.0%

大学専任教員・非常勤教員比率



II. 事業の概要

1　基本的な方針

本学園は、教育研究体制の整備充実を図るとともに、教育内容のより一層の改善・充実や施設設備の整備等を行うことによって、多様な社会の要請に応える有為な人材の育成に努めます。また、少子高齢化の進展に伴う18歳人口の減少等の社会情勢の変化に的確に対応し、学園の円滑な運営を行い今後の更なる発展を期するために、入学者の確保や経営の効率化などにより財政基盤の着実な強化を図ります。

なお、平成27年度は、平成医療学園専門学校文化・教養専門課程日本語学科が学生受入れ2年目を、なにわ歯科衛生専門学校夜間部が学年進行完成年度を迎えました。

2　事業の実施状況

(1) 宝塚医療大学

①　入学者の確保

平成27年度は、兵庫県及び大阪府に所在する高校を中心に6月から7月にかけて各学科教員による高校訪問を実施しました。また、訪問先を九州、中国地方を含めた広域圏に拡大するとともに柔道大会への訪問・協賛を増やし、教員対象の説明会を実施するなど、クラブ活動の顧問教員との関係性は広がりを見せました。その結果、スポーツ推薦入試で7名が入学しました。

また、これまで実施してきた会場型説明会に加え、高校生の興味を喚起するため、「模擬授業」や「分野紹介」を数多く実施しました。オープンキャンパスにおいては、全学科の特色を明確に示す体験授業を実施するとともに、入試対策に関する講演会など、参加者の満足度を高める内容を企画しました。

なお、平成27年度は、オープンキャンパスを14回、入学試験を16回実施し、理学療法学科41名（充足率102.5%）、柔道整復学科48名（充足率80.0%）、鍼灸学科22名（充足率36.7%）の合計111名が入学しました。また、柔道整復学科3年次に1名が編入学しました。

②　教育の充実

平成26年度から継続して検討を続けていた大学設置認可時の教育課程について、より実践的な力を身に付けるため、理学療法学科及び柔道整復学科において教育課程の改正を行いました。

平成28年度入学生に対しては、「入学前教育」として事前課題を配布し、課題ノートを提出するよう求めました。また、事前課題に基づいたプレースメントテストを実施し、学力に問題のある学生に対しては「補充授業」を行うことを決定しました。

さらに、平成28年度からGPA制度を導入することを決定し、併せて教務規程を制定し、進級要件の見直し等を行いました。

留年者及び退学者を減少させるための取組としては、教務委員会にワーキンググループを設置し、開学以来の留年及び退学状況を調査の上、報告書を作成し全教員に配布しました。報告書に記載された提案を基に取組を実施しています。

また、的確な学生指導を行い学生の履修意欲を高めるため、「オフィスアワー」を充実させ

るとともに、シラバスの様式を改め講義の各回における予習・復習内容を明示するなどの改善を行いました。

③　研究の充実

全学的な研究体制の下で、統合医療及び予防医学に関する研究並びに基礎医学分野の科学的研究を実施し、「理学療法学」に関する研究内容の充実を図りました。「柔道整復学」及び「鍼灸学」についてはエビデンスを構築し、特色ある研究を推進しました。さらに、学内において研究成果発表会を定期的に実施するとともに、宝塚医療大学紀要第3号を発行し、研究成果を積極的に公表しました。今後とも、「科学研究費助成事業」（科研費）等の公的研究費を獲得するために、研究者個々の研究の推進を図ります。

また、研究体制を強化するため、平成28年度から学長裁量経費を設け、学内で研究課題を公募し、採択された研究に対して研究費を配分することを決定しました。

④　国家試験対策の充実

平成26年度の試験結果を踏まえ、各学科に設けた国家試験対策部会において一層の教育内容の充実を図りました。具体的には、早期からの対策講義の実施、業者による模擬試験や姉妹校との合同模擬試験の計画的実施により、学生個々の状況に合わせた指導を行い、国家試験合格率の向上を目指しました。

平成27年度の国家試験の結果は、理学療法学科で72.7%、柔道整復学科で76.0%、鍼灸学科で100.0%となり、いずれの学科でも昨年度より合格率が向上しました。

⑤　就職支援の充実

学生個々の職業意識を向上させるため、履歴書やビジネス文書の作り方、医療人としてのマナー講座等のキャリア教育を計画的に実施しました。

また、合同就職説明会を開催し、病院、福祉施設等の人事担当者が直接学生と面談できる機会を設けました。平成27年度は9月13日に理学療法学科対象の説明会を、11月29日に柔道整復学科及び鍼灸学科対象の説明会をそれぞれ開催し、いずれも50を超える病院、福祉施設等の参加がありました。柔道整復学科及び鍼灸学科対象の就職説明会においては、近隣の同系学科を設置する大学にも案内を送付し、他大学の学生も参加しました。また、本学の学生も同様に、希望者が他大学の就職説明会に参加しました。今後、このような大学間連携を強化し、より充実した就職指導を計画・実施します。

平成27年度の進路状況は、卒業生107名に対して就職した者は74名（69.2%）、進学した者は9名（8.4%）、その他24名（卒業後就職活動開始：4名（3.7%）、資格試験受験準備：5名（4.7%）、一時的な仕事に就いた者：6名（5.6%）、進路未定：4名（3.7%）、不明・検討中：5名（4.7%））となりました。

国家試験に不合格となった者に対しては、卒業後も各学科で実施する国家試験対策講義に参加できるようにするなど、国家試験対策委員会と連携しながら、支援を続けます。

これらに並行してキャリア開発センターの整備を進め、求人票を学科別、地域別に容易に閲覧・検索できるようにしました。

⑥　社会貢献の充実

平成27年11月から12月にかけて、地域住民向けの「健康講座」（全6回）を実施し、毎回約50名の参加がありました。また、平成27年5月から6月にかけて「トライやるウィーク」事業として周辺の中学校3校から約10名の生徒を受け入れ、地域との連携を深めました。

附属治療院においては、施術担当者や施術専門分野を治療室内に掲示し、柔道整復、鍼灸

治療について、地域住民により理解されやすい環境づくりに努めました。

⑦　設置計画履行状況等調査への対応

平成27年5月13日付けで、文部科学省大学設置・学校法人審議会大学設置分科会に設置計画履行状況等調査の改善意見等対応状況報告書を提出しました。平成27年11月12日に面接調査があり、質疑応答等が行われ、その対応策についての補足資料を平成27年11月30日付けで提出しました。

平成28年2月19日付けで改善意見等についての結果通知があり、平成28年3月に改善意見に対する改善状況報告書を提出しました。特に、鍼灸学科の入学定員については、抜本的な改善策として、現行の入学定員60名から30名に減少させるとともに、理学療法学科の入学定員を40名から70名に増加させることを3月の理事会で決定しました。

今後、鍼灸学科及び理学療法学科の入学定員変更について、学則変更届を文部科学省高等教育局高等教育企画課大学設置室に、学則変更承認申請書を同局医学教育課に提出する予定です。

⑧　認証評価への対応

本学の教育、研究、運営状況等について自己点検評価を行い、「平成27年度自己点検報告書」、「平成27年度エビデンス集・データ編」を作成し、11月にホームページに公開しました。この点検評価を踏まえた上で、日本高等教育評価機構の大学機関別認証評価の受審の手引きに沿った項目により、平成28年度の「自己点検報告書」、「エビデンス集・データ編」を作成する予定です。

⑨　あん摩マッサージ指圧師養成施設の新設

超高齢社会を迎え、国民の医療、健康、福祉分野を支える医療人として、あん摩マッサージ指圧師養成の必要性に着目し、鍼灸学科においてあん摩マッサージ指圧師の国家試験受験資格が取得できるよう教育課程を改め、高度な教育・研究を推進させるために、平成27年10月29日付けで文部科学省医学教育課へ認定申請を行いました。

平成28年１月29日付けで文部科学大臣からあん摩マッサージ指圧師の国家試験受験資格取得に係る申請は認定しないとの通知がありましたが、今後も認定に向けて準備を進めます。

⑩　施設設備の整備

運動学分野の教育研究に有効な筋機能評価運動装置及び三次元動作解析装置を運動学実習室に導入し、教育研究の拡充を図るための環境を整えました。図書館には入館ゲートを設置し、図書貸出システムを確立し蔵書管理をより適正かつ効率的に行えるようにしました。また、敷地内に街灯を増設し、国家試験対策や卒業研究等のため遅くまで残って学習する学生の安全を確保するとともに、テニスコートの改修及びグラウンドの防球ネットの設置を行い、活発なクラブ活動や充実した学生生活を提供できるよう、施設設備を整備しました。さらに、後期から通学バスの運行を開始し、快適な通学環境を整え学生サービスの向上を図りました。

(2)　平成医療学園専門学校

①　入学者の確保

医療専門課程の学生募集については、夜間Ⅲ部への入学者が減少し、平成28年4月の入学者数は138名、うち柔道整復師科83名（充足率55.3%）、鍼灸師科53名（充足率58.9%）、東洋療法教員養成学科2名（充足率20.0%）となり、昨年度比28.1%減となりました。これは、

夜間部特別奨学金の廃止により、社会人の入学者数が減少したことが原因であると考えています。

平成28年度は、社会人入学者数の減少を補うために高校生や若年層の獲得を目指し、高校訪問を充実させるとともに、スマートフォンから閲覧しやすいようにホームページを全面リニューアルすることで志願者の増加を図ります。

なお、文化・教養専門課程の日本語学科については、10月入学の進学1.5年コースにベトナムからの留学生が7名入学しました。また、平成28年4月入学生として進学2年コースにベトナムからの留学生28名が入学しました。

ベトナム現地の日本語学校との連携体制も徐々に整い、ベトナムからの留学生が増加しています。

② 教育の充実

カリキュラムでは、公益社団法人日本アロマ環境協会のアロマテラピーアドバイザー資格とアロマテラピーインストラクター資格の認定講座、公益財団法人日本体育協会の公認スポーツ指導者養成講習会講習試験免除適応コース（共有科目Ⅰ・Ⅱ）の認定講座、そして公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の公認障がい者スポーツ指導員資格取得認定講座を開講しました。

また、教育課程編成委員会から今後の課題として臨地実習先の充実を求められており、開業している経験豊富な臨床家の下での外部実習やスポーツ大会会場等でのトレーナー実習などが実施できるよう、提携先の開拓に力を入れました。

教員研修では、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団の推薦を受けての大阪大学大学院歯学研究科への専修学校研修員の派遣をはじめ､関連団体が開催する教員研修会への参加、関連学会への発表及び参加を推奨しています。また、昨年度に引き続き、医学博士でもあるクリニックの院長や、プロ野球チームの元トレーナーを招き、専門分野における実務に関する教員研修会を実施しました。

③ 国家試験対策の充実

国家試験の合格率は、柔道整復師76.0%、はり師82.4%、きゅう師84.3%となり、柔道整復師、はり師、きゅう師とも新卒者の合格率は全国平均を下回りました。

合同模擬試験委員会及び国家試験対策委員会を設置し、グループ校との合同模擬試験結果や、定期的な学内実力テストの結果を分析することにより、学習状況を継続的に把握し、教育内容に反映させていますが、平成27年度の国家試験の結果を見ると、取組が不十分であったと思われます。この結果を真摯に受け止め、平成28年度は、各学生の修学状況を把握し、個々人に対応したより細やかな学習指導を行いたいと考えています。

④ 就職支援の充実

平成26年度に引き続き、キャリアサポート委員会に担当教職員を配置し、学生の要望と求人とのマッチングを行いました。また、平成27年度から、求人情報をウェブで閲覧できる求人システムを導入し、学生が手軽に求人情報を閲覧できる環境を整えました。

卒業後の進路状況は、卒業生132名のうち95名（72.0%）が就職、10名（7.6%）が他学科等へ進学、27名（20.5%）がその他で、卒業生の7割が就職している状況であります。

国家試験の難易度が上昇傾向にあることから、国家試験終了後に就職活動を行う卒業生が増加していることが、就職率低下の原因であると考えられます。

今後も、就職先・アルバイト先の斡旋については、キャリアサポート委員会の活動を充実させることによって、関係団体等との連携を密にし、就職先・アルバイト先の選択肢を増や

し、就職支援の更なる充実・強化を図っていきます。

なお、日本語学科の卒業生については、日本語を更に学ぶために日本語教育機関に2名が進学、ホテルでの就業を目指す専門学校のホテル総合コースに1名が進学、そして本校の事務職員として1名が就職しました。

⑤　あん摩マッサージ指圧師養成施設の新設

あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師を養成するあん摩マッサージ指圧師鍼灸師科として夜間部に30名定員の学科新設を目指し、平成27年9月29日付けで厚生労働大臣に認定申請書を提出しましたが認定されませんでした。医道審議会の意見等を踏まえ、再度設置認定申請を検討します。

⑥　保育士養成施設の新設

保育士養成施設について、当初予定していた法人本部棟では必要な建物面積の確保が難しいことから、他の土地で検討することとなりました。

今後、確保できる入学定員数の算出等を行った上で、学校経営上、健全かつ安定に運営できるかどうかの検証を行うなど新設に向けた検討を続けます。

⑦　日本語学科の充実

日本での修学に対応できる日本語能力を修得するための授業の充実に加えて、日本の文化や慣習に触れるために、医療専門課程の学生が中心となって開催する学園祭へ日本語学科として模擬店を出店したり、学友会が主催する茶話会へ出席するなど、医療専門課程の学生との交流を積極的に行いました。

⑧　施設設備の整備

平成27年度は、第二校舎の空調の室外機が立て続けに故障し、緊急修理の対応が必要となりました。そのため、予定していた「校舎の特殊建築物定期調査」に基づく不具合改修及び第二校舎のロビータイル剥がれの修繕を次年度に延期しました。

しかし、授業で使用する学生用パソコン15台やプロジェクター6台を新たに購入し、教育関連の設備の改善を行いました。

(3)　横浜医療専門学校

①　入学者の確保

高校生に対しては、積極的な高校訪問の実施及びネット媒体を通じて本校の特色等をアピールするとともに、関心が高いスポーツトレーナー関連については、本校が業務契約を結んでいる横浜DeNAベイスターズと湘南ベルマーレのブランドを活用し、「柔整とスポーツトレーナー」及び「鍼灸とスポーツトレーナー」をアピールしました。

社会人に対しては、「神奈川県内で唯一働きながら夜間に学べる学校」であることをアピールするとともに、教育訓練給付金制度の対象となっていることを積極的にPRしました。

また、入学者が少ない鍼灸師科については、近年話題となっている美容鍼灸をアピールするとともに、鍼灸師科夜間については医療系国家資格を取得している者に対する本校独自の特待生制度の周知に力を入れました。

しかし、平成28年4月の入学者は113名（充足率47.1%）、うち柔道整復師科昼間55名（充足率91.7%）、柔道整復師科夜間19名（充足率31.7%）、鍼灸師科昼間25名（充足率41.7%）、鍼灸師科夜間14名（充足率23.3%）という結果に終わり、昨年度に比べて、特に柔道整復師

科夜間における充足率の低下が明らかとなりました。

本校における入学者の募集活動は、これまで広報室が主体となって実施してきましたが、高校生の募集が解禁となった10月における応募状況が思わしくなかったことから、統括長、校長、教員、広報室職員からなる広報戦略会議を新たに設置し、学校が一体となって総合的な広報戦略を策定・実施する体制を構築しました。

その結果、①高校訪問及び治療院訪問の通年実施、②ホームページの改善、③ホームページとパンフレットのデザイン等の統一（平成28年度から同一の業者に変更）、④進学情報のインターネット検索会社の変更、⑤進学ガイダンスの変更、⑥学校説明会の内容の再検討、⑦社会人のための夜間学校説明会の実施、⑧入試制度及び奨学金制度の見直しなど、多岐にわたる改革案が検討されました。

これらの改革案の一部は、既に実施に移されていますが、入試制度及び奨学金制度の改革については、平成28年度に所定の手続を行い、平成29年度入学生から適用予定です。

② 教育の充実

平成27年度においても、通常の講義・実習・実技に加えて、多数のゼミや講習会を開催し、教育の充実に努めました。また、職業実践専門課程の認定を受け、平成28年度における湘南ベルマーレと横浜DeNAベイスターズとの提携内容に、本校における授業の実施を新たに盛り込みました。

また、教員の資質向上を図るため、平成27年8月20日と21日の2日間、全教員参加の下に第1回FDワークショップを開催しました。テーマは「学生のためのシラバスを作ろう」で、第1日目にセッションⅠ（ニーズの解析）とセッションⅡ（教育目標）、第2日目にセッションⅢ（教育方略）とセッションⅣ（教育評価）を行いました。なお、このFDワークショップは、今後も毎年夏季休暇中に実施することにしています。

さらに平成27年度から、学生の声を授業に反映させるために「学生による授業評価」を導入しました。3年生については国家試験終了後の業団説明会を行った3月10日に、1、2年生については新年度オリエンテーションを行った4月1日に実施しました。この結果は各教員に通知し、今後の授業内容の向上に役立てていきます。

③ 国家試験対策の充実

平成27年度の新卒者における国家試験合格率は、柔道整復師76.7%、はり師87.8%、きゅう師90.2%となりました。はり師、きゅう師については全国平均を上回りましたが、柔道整復師については昨年度よりも上昇したものの、まだ全国平均をやや下回っています。

平成27年度は、昨年度に引き続き、年4回実施している合同模擬試験の結果を基に、正答率の低かった問題をピックアップし、その後の授業で該当する範囲全てについてのフィードバックを行いました。また、分野別に苦手科目の選別を行い、補習授業を実施して苦手科目の克服対策を積極的に行うとともに、次回の模試に同じ範囲での問題を出題し、フィードバックの効果を確認するという取組を行いました。

特に柔道整復師科では、平成26年度の結果を真摯に受け止め、国家試験対策に務めました。しかし、平成27年度の結果を分析すると、一般問題は十分に得点しているものの、必修問題のみで不合格となった者が数名いることが明らかとなりました。そのため、平成28年度は特に柔道整復師科における必修問題対策を更に充実させます。

④ 就職支援の充実

平成27年10月3日に、例年と同様に地域の治療院や求人企業等が一堂に会し、参加した在校生が多くの求人企業等と面談できる「就職相談会」を実施しました。

初めに、求人情報・転職サポート会社による「就職先の選び方と求められる人材」と題した講演を行い、次いで、治療院ごとに分かれたブースを学生が回るという形式で相談会を行いました。相談会に参加した治療院は昨年度より6治療院多い46治療院で、対象となる3年次学生136名（柔整94名、鍼灸42名）のうち、柔整94名（100%）、鍼灸27名（64.3%）が参加しました。昨年度の相談会において、学生から各治療院の説明時間が統一されていないため、参加者によって話を聴けた治療院数に偏りがあるという指摘があったことから、今年度は時間を延長するとともに、各治療院に対して説明が長くなりすぎないように依頼した結果、各学生とも一定数の治療院から説明を受けることができました。なお、この相談会をきっかけとして、柔整で14名、鍼灸で3名の学生が就職できました。

卒業後の進路状況については、平成27年度卒業生127名のうち就職したのは91名（71.7%）で、他学科等への進学が9名（7.1%）、その他は27名（21.3%）となっており、卒業生の大部分は就職しています。

⑤　あん摩マッサージ指圧師養成施設の新設

4年制の「あん摩マッサージ指圧鍼灸師科」を設置することを目的として、平成27年1月21日付けで神奈川県及び関東信越厚生局に設置計画書を提出しました。この設置計画については、平成27年9月7日に開催された医道審議会において望ましくないとされましたが、平成27年9月29日付けで神奈川県及び関東信越厚生局に認定申請書を提出しました。

これに対して平成28年1月25日に開催された医道審議会は認定すべきでないとし、この答申に基づいて厚生労働省は平成28年2月5日付けで認定しない旨の処分を通知しました。

本校では、この通知を不服とし、東京地方裁判所に提訴する準備を進めているところです。

⑥　鍼灸師科昼間2部の募集停止

平成24年度から鍼灸師科昼間60名を昼間1部（午前）30名と昼間2部（午後）30名に分けて募集をしてきましたが、昼間1部に入学する学生は増加傾向にあるものの、昼間2部に入学する学生は次第に減少傾向を示し、平成27年度には昼間2部の入学者を確保できず、クラスを開講できない状況に至りました。

平成27年1月21日付けで、平成28年度4月開校予定の「あん摩マッサージ指圧鍼灸師科」の設置計画書を神奈川県及び関東信越厚生局に提出しました。「あん摩マッサージ指圧鍼灸師科」で使用する講義室を確保するため、平成27年4月から鍼灸師科昼間の募集を昼間1部（定員30名）のみとし、昼間2部（定員30名）の募集を「あん摩マッサージ指圧鍼灸師科」の設置が認められるまで停止することについて、平成27年9月29日付けで神奈川県に申請し、承認されました。

なお、神奈川県には「あん摩マッサージ指圧鍼灸師科」の新設申請の可否によっては学生募集を再開する可能性もあることを伝えています。

⑦　学則の変更

平成27年9月29日付けで神奈川県に学則の変更を申請し、平成28年3月16日付けで平成28年4月1日からの変更が承認されました。変更事項は、①授業科目の実施時期の一部変更、②選択必修科目を統合教育科目に変更、③一部の授業科目名を変更、④鍼灸師科の昼間1部、昼間2部の区別をなくし鍼灸師科昼間（定員60名）に変更、⑤その他、文言の一部を変更の5項目です。

なお、神奈川県には、「あん摩マッサージ指圧鍼灸師科」の新設が認められた場合には、鍼灸師科は昼間30名（午前）、夜間30名とし、「あん摩マッサージ指圧鍼灸師科」は昼間30名（午後）とする予定であることを伝えています。

⑧　職業実践専門課程の認定申請

平成27年9月28日付けで神奈川県に、平成26年度の教育実績、学校評価、教育課程編成、教員研修の実績等の内容をもって、認定申請書を提出し、平成28年2月19日付けで文部科学大臣告示により柔道整復師科昼間・夜間及び鍼灸師科昼間・夜間が職業実践専門課程として認定されました。今後、職業実践専門課程として更なる質の向上を図るとともに、教育環境の充実を目指します。

⑨　教育訓練給付制度（専門実践教育訓練給付）の指定申請

平成26年12月25日付けで、厚生労働省から柔道整復師科昼間・夜間及び鍼灸師科昼間・夜間が専門実践教育訓練講座に指定され、平成27年4月入学者から対象となりました。平成27年度入学者のうち20名が必要な手続を行いました。また、平成28年度は受給対象者が6名（柔整師科夜間1名、鍼灸師科夜間2名、昼間3名）入学しているので、制度の内容を説明の上、必要な手続を取るように指導しました。

⑩　施設設備の整備

平成27年度は、学生からの要望が強かった温水洗浄便座を1階から7階までの全ての男子・女子トイレに設置しました。また、光熱費の削減と環境対策のため、全館の蛍光灯をLEDに交換しました。さらに、6階外壁の水漏れ補修工事、各階通路のカーペット張替等を行いました。

また、平成28年3月7日付けで、神奈川県に対して6階教員室の拡充工事、1階事務室と附属接骨鍼灸院の改修・拡張工事及び一部の部屋の用途変更を行うための申請書を提出し、認可されました。今後は、これらの工事を実施するとともに、外壁の改修工事やエレベーターの内装工事、教室等のカーペット張替など、施設設備の整備を順次行っていく予定です。

(4)　なにわ歯科衛生専門学校

①　入学者の確保

昼間部では､オープンキャンパスや高等学校でのガイダンスによる学校の雰囲気の体験や、個別に対話の機会を持つことを重視しました。また、主な対象が高校生であることから、コミュニケーションツールの中で最も頻繁に利用されているアプリケーションLINEや進学情報媒体・インターネットを中心にスマートフォンやパソコンを活用した情報配信による広報活動にも力を入れました。夜間部では、社会人が主な対象となるため、歯科医院（歯科助手）に向けた広報活動を行いました。

その結果、昼間部は入学定員72名に対し志願者99名、夜間部は入学定員36名に対し志願者59名となり、最終的に平成28年4月の入学者は昼間部80名（充足率111.1%）、夜間部40名（充足率111.1%）となりました。

②　教育の充実

平成27年度は、企業からの講習、講演の機会を例年より増やし、幅広い技術や知識を取り入れるために教育課程の編成を行いました。

また、実技科目については綿密な指導を行い、特に臨床実習前や卒業前の実技試験に力を入れて取り組みました。

夜間部が完成年度となり、臨床実習や国試対策も始まりましたが、個々に対応した指導を行うよう心掛けて取組を行いました。昼間部・夜間部とも、担任制を採用することで、学生

や保護者と接する時間を多く取り、精神面のケアや相談、学習のフォローを行うことにも努めました。

③　国家試験対策の充実

国家試験については、年間10回の模擬試験を実施し、指導に反映しています。また例年に倣い、国家試験対策用のカリキュラム（総復習講義、国試対策補講）を取り入れています。初めての試みとして、スマートフォンでいつでも学習ができる「国試対策用アプリ」も導入しました。

平成27年度の結果は、受験者101名中合格者94名で、合格率は93.1%（昨年度95.2%）となり、全国平均（97.4%）を下回ることとなりました。不合格者には、国家試験対策講義の聴講や模擬試験などにより次年度に向けた対策を行うこととしています。

④　就職支援の充実

昼間部の学生は例年10月頃には就職希望先を決め、順次採用試験に向かうことから、そのための指導や相談を綿密に行いました。夜間部の学生は11月まで臨床実習があるため、それ以降に就職指導を行いました。

卒業後の就職状況については、卒業生101名に対して求人件数は10倍以上となり、就職希望者91名に対して就職者は76名（83.5%）となりました。就職先はほとんどが一般の歯科診療所となっています。今後も、就職希望者全員が就職できるよう、学生一人ひとりに対するきめ細かい進路指導を行っていきます。

⑤　職業実践専門課程の認定申請

平成26年度の学校評価や教育の実績等を基に、昼間部の職業実践専門課程認定の申請を行い、平成28年2月19日付け文部科学大臣告示にて認定されました。夜間部については、卒業生輩出実績が必要であるため平成28年度に申請を行う予定です。

⑥　教育訓練給付制度（専門実践教育訓練給付）の指定申請

厚生労働省の教育訓練給付制度が平成26年10月より拡充され、専門実践教育訓練給付として3年間で最大144万円の給付を受けることができるようになり、昼間部は平成26年度に指定（平成28年度入学生より適用）を受けました。夜間部については、卒業生輩出実績が必要であるため平成28年度に申請を行う予定です。

⑦　施設設備の整備

5階実験室に55インチモニターを4台設置し、これまでプロジェクターでは見辛かった細かな動画や画像などがどの位置からも鮮明に見えるよう改善を行いました。

また、平成27年度の大阪府歯科衛生士養成所設備整備事業により物品購入の補助が得られたことから、新規に口腔ケアモデルを導入し、講義に役立てています。

校舎については、平成27年9月3日付けで、津波災害時等における緊急一時避難施設として大阪市に登録を行いました。防災用の施設として活用できるよう設備の見直しを行っています。

電気設備についても、新電力への切替えを行い、昨年度比13.8%のコスト削減となりました。

(5) 法人本部

① 役員の選任

平成27年11月21日の理事会・評議員会で、宝塚医療大学学長の退任報告があり、後任の学長の選任について承認を得ました。それに伴い、第1号理事（大学の学長）の退任報告があり、理事の選任条項変更について承認を得ました。

平成28年1月12日の理事会・評議員会で、平成28年2月で任期満了となる監事の再任について承認を得ました。

平成28年3月23日の理事会・評議員会で、なにわ歯科衛生専門学校校長の選任について承認を得ました。それに伴い、第2号理事（専門学校の校長から理事会で選任）の再任について承認を得ました。

② 情報公開の充実

グラフや用語解説を追加して、学生や保護者等の閲覧者にとって、より分かりやすく見やすい情報の公開に努めました。また、学園ホームページの更新を行い、情報量を増やしました。

③ 私立大学等経常費補助金の申請

平成27年度に宝塚医療大学の学年進行が完成したことに伴い、日本私立学校振興・共済事業団の「私立大学等経常費補助金」の交付対象法人となりました。今年度初めて申請を行った結果、67,537,000円の交付を受けました。

④ 収益事業の開始

学園の持つ土地建物を有効に活用するため、平成28年2月26日付けで収益事業（不動産賃貸業）の開始に関する寄附行為の変更認可申請を行い、平成28年3月28日付けで文部科学大臣の認可を受けました。この寄附行為は平成28年4月1日施行です。

⑤ 大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査への対応

平成27年8月27日に、文部科学省大学設置・学校法人審議会学校法人分科会に大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査を提出しました。

平成28年2月19日付けで改善意見等についての結果通知があり、そのうち理事会・評議員会の委任状の様式については見直しを行い、改善しました。今後、他の改善意見についても改善に努めます。

⑥ 事務体制の整備

人事労務や補助金業務などに対応するため職員を採用し、事務体制の整備を行いました。また、事務能力の向上を目的として、職員を外部団体が開催する研修会等に参加させました。

3 理事会・評議員会の開催状況

◆ 理事会

（平成27年度開催実績）

開催年月日	主な協議内容
平成27年5月26日 （1回目）	第1号議案：平成26年度事業報告書（案）について 第2号議案：平成26年度決算（案）について
平成27年5月26日 （2回目）	第1号議案：理事長職務の代理順位について 第2号議案：社会福祉法人山の子会に対する貸付けについて 第3号議案：学校法人平成医療学園統括長に関する規程の制定（案）について 第4号議案：学校教育法の改正に伴う宝塚医療大学学則等諸規程の一部改正について（報告） 第5号議案：各学校の学生募集状況について（報告） 第6号議案：その他
平成27年8月8日	第1号議案：保育士養成施設について 第2号議案：収益事業について 第3号議案：平成医療学園寄附行為の変更について 第4号議案：横浜医療専門学校学則の一部改正（案）について 第5号議案：学校法人の会計処理等に関する実態調査について（報告） 第6号議案：その他
平成27年11月21日	第1号議案：人事について 第2号議案：平成28年度予算編成方針（案）について 第3号議案：宝塚医療大学国家試験対策受講生に関する申合せの制定（案）について 第4号議案：宝塚医療大学鍼灸学科特別入学奨学金に関する申合せの制定（案）について 第5号議案：あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師養成施設の認定申請の進捗状況について（報告） 第6号議案：「平成27年度設置計画履行状況等調査」の面接調査について（報告） 第7号議案：各学校の学生募集状況について（報告） 第8号議案：その他
平成28年1月12日 （1回目）	第1号議案：監事候補者の選出について
平成28年1月12日 （2回目）	第1号議案：平成27年度第一次補正予算（案）について 第2号議案：監事の選任について（報告） 第3号議案：各学校の学生募集状況について（報告） 第4号議案：その他

平成28年2月14日	第1号議案：運動場用地の貸付け又は譲渡について 第2号議案：役員報酬について 第3号議案：横浜医療専門学校学則の一部改正（案）について 第4号議案：財団法人未来産業技術研究振興財団前理事長牛丸貞夫氏に対する貸付金返済訴訟について（報告） 第5号議案：平成28年度予算編成について（報告） 第6号議案：その他
平成28年3月23日	第1号議案：平成27年度第二次補正予算（案）について 第2号議案：平成28年度事業計画（案）について 第3号議案：平成28年度予算（案）について 第4号議案：平成医療学園専門学校、横浜医療専門学校及びなにわ歯科衛生専門学校の校長の選任について 第5号議案：役員の選任について 第6号議案：宝塚医療大学の入学定員変更について 第7号議案：宝塚医療大学学則の一部改正（案）について 第8号議案：宝塚医療大学諸規程の制定及び一部改正（案）について 第9号議案：「大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査（平成27年度）」及び「設置計画履行状況等調査（平成27年度）」の結果について（報告） 第10号議案：各学校の学生募集状況について（報告） 第11号議案：その他

◆ 常任理事会

（平成27年度開催実績）

開催年月日	主　な　協　議　内　容
平成27年6月24日	第1号議案：保育士養成施設の新設について 第2号議案：法人本部棟の利用について 第3号議案：あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師養成施設設置計画の進捗状況について（報告） 第4号議案：その他
平成27年8月8日	第1号議案：保育士養成施設について 第2号議案：収益事業について 第3号議案：平成医療学園寄附行為の変更について 第4号議案：横浜医療専門学校学則の一部改正（案）について 第5号議案：学校法人の会計処理等に関する実態調査について（報告） 第6号議案：その他

◆　評議員会

（平成27年度開催実績）

開催年月日	主　な　協　議　内　容
平成27年5月26日	第1号議案：平成26年度事業報告書（案）について 第2号議案：平成26年度決算（案）について 第3号議案：理事長職務の代理順位について 第4号議案：社会福祉法人山の子会に対する貸付けについて 第5号議案：学校法人平成医療学園統括長に関する規程の制定（案）について 第6号議案：学校教育法の改正に伴う宝塚医療大学学則等諸規程の一部改正について（報告） 第7号議案：各学校の学生募集状況について（報告） 第8号議案：その他
平成27年8月8日	第1号議案：保育士養成施設について 第2号議案：収益事業について 第3号議案：平成医療学園寄附行為の変更について 第4号議案：横浜医療専門学校学則の一部改正（案）について 第5号議案：学校法人の会計処理等に関する実態調査について（報告） 第6号議案：その他
平成27年11月21日	第1号議案：人事について 第2号議案：平成28年度予算編成方針（案）について 第3号議案：宝塚医療大学国家試験対策受講生に関する申合せの制定（案）について 第4号議案：宝塚医療大学鍼灸学科特別入学奨学金に関する申合せの制定（案）について 第5号議案：あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師養成施設の認定申請の進捗状況について（報告） 第6号議案：「平成27年度設置計画履行状況等調査」の面接調査について（報告） 第7号議案：各学校の学生募集状況について（報告） 第8号議案：その他
平成28年1月12日	第1号議案：平成27年度第一次補正予算（案）について 第2号議案：監事の選任について 第3号議案：各学校の学生募集状況について（報告） 第4号議案：その他
平成28年2月14日	第1号議案：運動場用地の貸付け又は譲渡について 第2号議案：役員報酬について 第3号議案：横浜医療専門学校学則の一部改正（案）について 第4号議案：財団法人未来産業技術研究振興財団前理事長牛丸貞夫氏に対する貸付金返済訴訟について（報告） 第5号議案：平成28年度予算編成について（報告） 第6号議案：その他

平成28年3月23日	第1号議案：平成27年度第二次補正予算（案）について 第2号議案：平成28年度事業計画（案）について 第3号議案：平成28年度予算（案）について 第4号議案：平成医療学園専門学校、横浜医療専門学校及びなにわ歯科衛生専門学校の校長の選任について 第5号議案：役員の選任について（報告） 第6号議案：宝塚医療大学の入学定員変更について 第7号議案：宝塚医療大学学則の一部改正（案）について 第8号議案：宝塚医療大学諸規程の制定及び一部改正（案）について 第9号議案：「大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査（平成27年度）」及び「設置計画履行状況等調査（平成27年度）」の結果について（報告） 第10号議案：各学校の学生募集状況について（報告） 第11号議案：その他

4　学位又は称号

(1) 取得可能な学位又は称号

◆　宝塚医療大学

学部	学科	学位
保健医療学部	理学療法学科	学士（保健医療学）
	柔道整復学科	学士（保健医療学）
	鍼灸学科	学士（保健医療学）

（注）理学療法学科・柔道整復学科・鍼灸学科では、それぞれの国家試験受験資格を取得可能。
また、所定のカリキュラムを履修することにより、柔道整復学科・鍼灸学科では教員免許（高等学校教諭一種免許状（保健体育））を、理学療法学科・柔道整復学科・鍼灸学科ではアスレチック・トレーナー資格（JATAC-ATC）を取得可能。

◆　平成医療学園専門学校

課程	学科	称号
医療専門課程	柔道整復師科	専門士（医療専門課程）
	鍼灸師科	専門士（医療専門課程）
	東洋療法教員養成学科	専門士（医療専門課程）
文化・教養専門課程	日本語学科　進学2年コース	専門士（文化･教養専門課程）

（注）柔道整復師科・鍼灸師科では、それぞれの国家試験受験資格を取得可能。
また、所定のカリキュラムを履修することにより、柔道整復師科・鍼灸師科ではアスレチック・トレーナー資格（JATAC-ATC）を、鍼灸師科ではアロマテラピーアドバイザー資格を取得可能。
東洋療法教員養成学科では、あん摩マッサージ指圧はりきゅう教員資格を取得可能。

◆　横浜医療専門学校

課程	学科	称号
医療専門課程	柔道整復師科	専門士（医療専門課程）
	鍼灸師科	専門士（医療専門課程）

（注）柔道整復師科・鍼灸師科では、それぞれの国家試験受験資格を取得可能。

◆　なにわ歯科衛生専門学校

課程	学科	称号
医療専門課程	歯科衛生士学科	専門士（医療専門課程）

（注）歯科衛生士国家試験受験資格に加え、所定のカリキュラムを履修することにより、介護職員初任者、移動支援従業者（全身性障がい）、移動支援従業者（知的障がい）の資格を取得可能。

(2) 学位授与数及び授与率

◆ 宝塚医療大学

（平成27年度）

学科	学位授与数	卒業学年在籍者数	学位授与率
理学療法学科	35	36	97.2%
柔道整復学科	52	53	98.1%
鍼灸学科	20	25	80.0%

（注）「卒業学年在籍者数」は平成27年5月1日現在。

5 学生生徒等納付金

◆ 宝塚医療大学

（単位：円）

理学療法学科	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金	300,000	－	－	－
授業料	850,000	850,000	850,000	850,000
施設管理費	400,000	400,000	400,000	400,000
実習費	250,000	250,000	300,000	300,000
合　　計	1,800,000	1,500,000	1,550,000	1,550,000
柔道整復学科・鍼灸学科	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金	300,000	－	－	－
授業料	950,000	950,000	950,000	950,000
施設管理費	400,000	400,000	400,000	400,000
実習費	300,000	300,000	300,000	300,000
合　　計	1,950,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000

（注）上記のほか、学友会費、後援会費、同窓会費、教科書代、白衣代等の諸経費が必要となります。

◆　平成医療学園専門学校

（単位：円）

柔道整復師科・鍼灸師科	1年次	2年次	3年次
入学金	250,000	－	－
授業料	870,000	870,000	870,000
施設管理費	240,000	240,000	240,000
教材費	200,000	200,000	200,000
学友会費	50,000	－	－
合　　計	1,610,000	1,310,000	1,310,000
東洋療法教員養成学科	1年次	2年次	－
入学金	500,000	－	－
授業料	600,000	600,000	－
施設管理費	200,000	200,000	－
教材費	200,000	200,000	－
学友会費	50,000	－	－
合　　計	1,550,000	1,000,000	－
日本語学科 医療福祉系1年コース	1年次	－	－
入学金	100,000	－	－
授業料	620,000	－	－
合　　計	720,000	－	－
日本語学科 進学1.5年コース	1年次	2年次	－
入学金	100,000	－	－
授業料	310,000	620,000	620,000
合　　計	410,000	620,000	620,000
日本語学科 進学2年コース	1年次	2年次	－
入学金	100,000	－	－
授業料	620,000	620,000	－
合　　計	720,000	620,000	－

（注）上記のほか、教科書代、白衣代（医療専門課程のみ）等の諸経費が必要となります。

◆　横浜医療専門学校

（単位：円）

柔道整復師科・鍼灸師科	1年次	2年次	3年次
入学金	240,000	－	－
授業料	840,000	840,000	840,000
施設管理費	240,000	240,000	240,000
教材費	200,000	200,000	200,000
学友会費	50,000	－	－
合　　計	1,570,000	1,280,000	1,280,000

（注）上記のほか、教科書代、白衣代等の諸経費が必要となります。

◆　なにわ歯科衛生専門学校

（単位：円）

歯科衛生士学科 昼間	1年次	2年次	3年次
入学金	100,000	―	―
授業料	640,000	640,000	640,000
実習料	160,000	160,000	160,000
教育充実費	100,000	100,000	100,000
同窓会費	20,000	―	―
合　　計	1,020,000	900,000	900,000
歯科衛生士学科 夜間	1年次	2年次	3年次
入学金	50,000	―	―
授業料	590,000	590,000	590,000
実習料	160,000	160,000	160,000
教育充実費	80,000	80,000	80,000
同窓会費	20,000	―	―
合　　計	900,000	830,000	830,000

（注）上記のほか、教科書代、白衣代等の諸経費が必要となります。

6 卒業及び就職等の状況

(1) 卒業者数・就職者数・進学者数等

◆ 宝塚医療大学

（平成28年5月1日現在、単位：名）

学科	卒業者数	就職者数		進学者数	その他
		関係分野	その他分野		
理学療法学科	35	29	0	0	6
柔道整復学科	52	30	4	8	10
鍼灸学科	20	10	1	1	8
合　　計	107	69	5	9	24

◆ 平成医療学園専門学校

（平成28年5月1日現在、単位：名）

学科	卒業者数	就職者数		進学者数	その他
		関係分野	その他分野		
柔道整復師科 昼間Ⅰ部	22	13	5	1	3
柔道整復師科 昼間Ⅱ部	38	22	9	2	5
柔道整復師科 夜間Ⅲ部	15	9	1	2	3
鍼灸師科 昼間Ⅰ部	10	6	0	0	4
鍼灸師科 昼間Ⅱ部	24	12	1	2	9
鍼灸師科 夜間Ⅲ部	17	12	2	0	3
東洋療法教員養成学科	2	2	0	0	0
日本語学科 進学2年コース	4	1	0	3	0
合　　計	132	77	18	10	27

◆ 横浜医療専門学校

（平成28年5月1日現在、単位：名）

学科	卒業者数	就職者数		進学者数	その他
		関係分野	その他分野		
柔道整復師科 昼間	44	36	0	1	7
柔道整復師科 夜間	42	29	2	3	8
鍼灸師科 昼間	28	11	0	5	12
鍼灸師科 夜間	13	12	1	0	0
合　　計	127	88	3	9	27

◆　なにわ歯科衛生専門学校

（平成28年5月1日現在、単位：名）

学科	卒業者数	就職者数		進学者数	その他
		関係分野	その他分野		
歯科衛生士学科 昼間	68	60	0	0	8
歯科衛生士学科 夜間	33	16	0	0	17
合　　計	101	76	0	0	25

（注1）「就職者数（関係分野）」とは、卒業者が当該大学・専門学校に在学した学科の専門分野と同等又は関連のある分野の職業に就いた場合をいう。

（注2）「就職者数（その他分野）」とは、上記「就職者数（関係分野）」以外で、当該大学・専門学校で履修した学科とは直接関係のない分野に就職した者をいう。

（注3）「就職者」とは、「正規の職員・従業員・自営業主等」又は「正規の職員ではない者のうち雇用契約が1年以上かつフルタイム勤務相当の者」をいう。

（注4）在学中既に職に就いている者で、卒業後も引き続きその職にある場合は「就職者」に含める。

(2) 主な就職先

◆　宝塚医療大学

（平成28年5月1日現在）

学科	主な就職先
理学療法学科	医療法人愛仁会、社会医療法人平成記念病院、医療法人晴風園伊丹今井病院、医療法人協和会協和会病院、白浜はまゆう病院、医療法人社団仁正会中谷整形外科病院、星ヶ丘医療センター、製鉄記念広畑病院、わかくさ竜間リハビリテーション病院
柔道整復学科	永田整形外科、古東整形外科・内科、米田病院、すぎもとクリニック、オアシス鍼灸接骨院、(株)SHIN9、(株)HSコーポレーション、(株)SYNERGY　JAPAN、(株)Fammy、西日本旅客鉄道(株)、ベラジオコーポレーション(株)、(株)マルハン
鍼灸学科	慈源堂木野整骨院、ムーヴアクション(株)、ぷらす整骨院(株)きたなか、エイム鍼灸接骨院、(株)ZARA　JAPAN、大野DOJYO

7 国家試験の受験状況

◆ 宝塚医療大学

（平成27年度新規卒業者）

学科	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
理学療法士国家試験	33	24	72.7%	82.0%
柔道整復師国家試験	50	38	76.0%	82.2%
はり師国家試験	13	13	100.0%	87.6%
きゅう師国家試験	13	13	100.0%	88.9%

◆ 平成医療学園専門学校

（平成27年度新規卒業者）

学科	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
柔道整復師国家試験	75	57	76.0%	82.2%
はり師国家試験	51	42	82.4%	87.6%
きゅう師国家試験	51	43	84.3%	88.9%

◆ 横浜医療専門学校

（平成27年度新規卒業者）

学科	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
柔道整復師国家試験	86	66	76.7%	82.2%
はり師国家試験	41	36	87.8%	87.6%
きゅう師国家試験	41	37	90.2%	88.9%

◆ なにわ歯科衛生専門学校

（平成27年度新規卒業者）

学科	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
歯科衛生士国家試験	101	94	93.1%	97.4%

8 退学者数・除籍者数・留年者数・中退率

(1) 退学者数

◆ 宝塚医療大学

（平成27年度、単位：名）

学科	退学者数				
	1年	2年	3年	4年	計
理学療法学科	1	3	4	1	9
柔道整復学科	4	3	1	0	8
鍼灸学科	2	1	0	0	3
合　　計	7	7	5	1	20

(2) 除籍者数

◆ 宝塚医療大学

（平成27年度、単位：名）

学科	除籍者数				
	1年	2年	3年	4年	計
理学療法学科	0	0	0	0	0
柔道整復学科	1	1	0	1	3
鍼灸学科	1	0	0	0	1
合　　計	2	1	0	1	4

(3) 留年者数

◆ 宝塚医療大学

（平成27年度、単位：名）

学科	留年者数				
	1年	2年	3年	4年	計
理学療法学科	0	9	8	0	17
柔道整復学科	0	6	1	0	7
鍼灸学科	2	1	1	5	9
合　　計	2	16	10	5	33

(4) 中退率

◆ 宝塚医療大学

（平成27年度中の退学・除籍者数／平成27年5月1日現在の在籍者数）

学科	中退率			
	1年	2年	3年	4年
理学療法学科	2.3%	4.9%	8.7%	2.8%
柔道整復学科	7.8%	6.3%	2.0%	1.9%
鍼灸学科	10.3%	7.1%	0.0%	0.0%
合　　計	6.6%	5.8%	4.7%	1.8%

9　社会人学生・留学生・海外派遣学生数

(1) 社会人学生数

◆　宝塚医療大学

（平成28年5月1日現在、単位：名）

学科	社会人学生数
理学療法学科	1
柔道整復学科	4
鍼灸学科	0
合　　計	5

（注）「社会人」とは、職に就いている者、すなわち、給料、賃金、報酬その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いている者をいう。また、企業等を退職した者及び主婦等も含む。

(2) 留学生数

◆　宝塚医療大学

（平成28年5月1日現在、単位：名）

学科	留学生数
理学療法学科	0
柔道整復学科	0
鍼灸学科	0
合　　計	0

(3) 海外派遣学生数

◆　宝塚医療大学

（平成27年度、単位：名）

学科	海外派遣学生数
理学療法学科	0
柔道整復学科	0
鍼灸学科	0
合　　計	0

III. 財務の概要

1 学校法人会計基準

◆ **学校法人とは**

学校法人とは、私立学校の設置を目的として、私立学校法の定めるところにより設立される法人をいいます（私立学校法第3条）。学校法人は、学校法人会計基準で定めるところに従って会計処理を行い、計算書類を作成しなければならないとされています。

◆ **学校法人会計基準の特徴**

学校法人は、一般の企業のように利益の追求を目的とするものではありません。学校法人は、教育研究活動を目的としていますが、収入と支出のバランスが取れなければ学校運営を維持することはできません。そのため、学校法人会計の目的は、設置運営する大学等の永続的維持、発展と教育研究活動の円滑な遂行です。同時に、経常費補助金に係る予算の適切な執行が求められます。

学校法人の収入の大半は、自由に増額することが困難な学生生徒等納付金です。また、教育研究活動の維持発展のための支出を削減することが難しい点があります。そこで、学校法人の経営状況及び財政状態を的確に把握するため、学校法人会計基準に基づき計算書類を作成する必要があります。

◆ **学校法人会計と企業会計の違い**

企業が利益の追求を目的としているのに対し、学校法人は教育研究活動を目的としています。企業会計が計算書類からその経営成績を知ることが目的であるのに対し、学校法人会計は計算書類によって安定的、継続的に教育研究活動が行われているか否かを知ることが目的です。

学校法人の事業は、基本的に非営利事業です。そのため、収益事業を目的とした一般事業会社のように利益を得ることが目的とはなっていないことから、一定の制限の下に認められる収益事業を除き、企業会計における損益計算は適用されません。

2 各科目の説明

◆ **資金収支計算書の科目（収入の部）**

科　　目	説　　明
学生生徒等納付金収入	教育研究活動の対価としての性質を有し、在学条件として義務的かつ一律に納付させる授業料、実験実習料や、学生生徒等を就学させるに当たって義務的かつ一律に納付させる入学金など。
手数料収入	特定の用役の提供に当たって受益者から徴収する手数料。入学検定料、試験料、証明手数料収入など。
寄付金収入	金銭その他の資産を寄贈者から贈与されたもので、補助金収入とならないもの。
補助金収入	国又は地方公共団体から交付される助成金。日本私立学校振興・共済事業団やこれに準ずる団体からの助成金を含む。

資産売却収入	帳簿残高のある固定資産等の売却収入。不動産売却収入、有価証券売却収入など。
付随事業・収益事業収入	補助活動収入（食堂、売店、寄宿舎等教育活動に付随する活動に係る事業の収入）、附属事業収入（附属機関（病院、研究所等）の事業の収入）、受託事業収入（外部から委託を受けた試験、研究等による収入）、収益事業収入（収益事業会計からの収入）など。
受取利息・配当金収入	その他の受取利息・配当金収入（預金、貸付金等の利息、株式の配当金等）など。
雑収入	学生生徒等納付金収入から事業収入までの各収入に含まれない収入で、固定資産に含まれない物品の売却収入その他学校法人に帰属する収入。
借入金等収入	金融機関等から借り入れた資金。
前受金収入	翌会計年度以後の諸活動に対応する収入を当該会計年度において資金収入したもの。
その他の収入	学生生徒等納付金収入から前受金収入までの各収入科目に含まれない収入。積み立ててきた特定資産から繰り入れた収入や、前会計年度末における未収入金の当該会計年度における収入など。
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対応する収入のうち、資金の収入が当年度中に行われず、前年度又は翌年度に行われる収入項目に対応する勘定。
前年度繰越支払資金	前年度から繰り越した支払資金。

◆ **資金収支計算書の科目（支出の部）**

科　　目	説　　明
人件費支出	教職員等に支給する人件費。教員人件費支出、職員人件費支出、役員報酬支出、退職金支出など。
教育研究経費支出	教育研究のために支出する経費。消耗品費支出、光熱水費支出、旅費交通費支出など。
管理経費支出	教育研究経費以外の経費。消耗品費支出、光熱水費支出、旅費交通費支出など。
借入金等利息支出	借入金及び学校債に係る利息支出。
借入金等返済支出	借入金及び学校債に係る返済支出。
施設関係支出	学校法人がその諸活動に使用する目的で取得する土地、建物、構築物、建設仮勘定等、固定して設置する固定資産に係る支出。
設備関係支出	学校法人がその諸活動に使用する目的で取得する教育研究用機器備品、その他の機器備品、図書、車輌等の設備又は電話加入権等の設備の利用に係る権利に係る支出。
資産運用支出	学校法人の資産運用目的による資金支出。
その他の支出	人件費支出から資産運用支出までの各科目に含まれない支出。当年度内に支払義務が確定しているが、年度末に未払いとなったもの（期末未払金）や、当年度に属する経費を前年度以前に前払いしたもの（前期末未払金）など。
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対応する支出のうち、資金の支出が当年度中に行われず、前年度又は翌年度に行われる支出項目に対応する勘定。
次年度繰越支払資金	翌年度へ繰り越される支払資金。

◆　事業活動収支計算書の科目

科　　目	説　　明
その他の教育活動外収入	収益事業収入、外国通貨や外貨預金の円貨への交換の際に生じる為替換算差額（為替差益）など、教育研究活動以外の収入。
その他の教育活動外支出	外国通貨や外貨預金の円貨への交換の際に生じる為替換算差額（為替差損）など、教育研究活動以外の支出。
その他の特別収入	施設設備寄付金、現物寄付、施設設備補助金、過年度修正額。
資産売却差額	学校が持つ不動産、有価証券等の資産を売却した際に生じる売却益。その他、有価証券の時価の著しい下落による有価証券評価損（有価証券評価差額）、有姿除却を行った場合の有姿除却等損失を含む。
その他の特別支出	災害損失、退職給付引当金特別繰入額、デリバティブ取引の解約損。
事業活動収入	学生生徒等納付金や補助金など学校法人の負債とならない収入。従来の「帰属収入」。企業会計の「収益」に当たる。
事業活動支出	年度内で消費する資産の取得価額（減価償却額など）と用役の対価として支出した額（人件費や経費支出など）。従来の「消費支出」。企業会計の「費用」に当たる。

3　財政運営

本学園の財政運営に当たっては、経営の安定を図るとともに、健全な学園運営を行うために、学生生徒等納付金、経常費補助金などの収入の確保と支出の削減を図り、経営の合理化・効率化に努めているところです。

本学園の平成27年度の決算は、以下のようになりました。

◆　**事業活動収支計算書の予算対比について**

教育活動収支の収入は24,573千円の減となり、内訳は、学生生徒等納付金38,620千円の減、手数料2,086千円の増、寄付金243千円の増、経常費等補助金690千円の増、付随事業収入3,018千円の増、雑収入8,010千円の増です。学生生徒等納付金減の大きな要因は、学生の休学・退学・除籍によるものです。

教育活動収支の支出は32,807千円の減となり、内訳は、人件費6,570千円の減、教育研究経費4,113千円の増、管理経費15,350千円の減、徴収不能等15,000千円の減で、人件費・管理経費は節約に努めました。教育研究経費の増は、構築物・教育用機器備品の設備の減価償却費の増です。結果、収支は8,234千円の増となりました。

教育活動外収支の収入は受取利息等3,523千円の増、支出は借入金利息等2,951千円の減となりました。結果、収支は6,474千円の増となりました。

特別収支の収入は現物寄付3,988千円の増、支出は資産処分差額等1,290千円の増となりました。結果、収支は2,698千円の増となりました。基本金組入額は予算化されておらず、157,395千円の増となりました。収支差額は139,989千円の減です。

◆　**事業活動収支計算書の前年度対比について**

教育活動収支の収入は255,206千円の増となり、内訳は、学生生徒等納付金166,462千円の増、手数料1,424千円の減、寄付金8,919千円の増、経常費等補助金69,848千円の増、付随事業収入1,208千円の増、雑収入10,193千円の増です。これは、学生数の増加による学生生徒等納付金の増、宝塚医療大学の経常費補助金の増、宝塚医療大学後援会からの寄付金の増によるものです。

教育活動収支の支出は65,787千円の増となり、内訳は、人件費29,464千円の増、教育研究経費56,090千円の増、管理経費14,442千円の増、徴収不能等34,209千円の減です。人件費の内訳は、教員人件費12,722千円の増、職員人件費11,652千円の増、退職金等5,090千円の増です。教育研究経費の内訳は、奨学費21,248千円の増、修繕費11,113千円の増、報酬委託手数料7,163千円の増、消耗品費3,997千円の増、備品費5,433千円の増、その他7,136千円の増です。管理経費の主な内訳は広報費13,572千円の増です。結果、収支は189,419千円の増となりました。

教育活動外収支の収入は雑収入・受取利息67,890千円の増、支出は借入金利息等2,012千円の減となりました。結果、収支は69,902千円の増となりました。

特別収支の収入は現物寄付等3,972千円の増、支出は資産処分差額等185千円の増となりました。結果、収支は3,787千円の増となりました。基本金組入額は114,487千円の増となり、全体の収支差額は148,621千円の増です。

◆　本学園の総資産額は、前年度より 324,931 千円増加し、9,193,969 千円となりました。

4 資金収支計算書

（単位：千円）

科目		平成27年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,295,395
	手数料収入	22,443
	寄付金収入	9,143
	補助金収入	96,701
	資産売却収入	0
	付随事業・収益事業収入	27,208
	受取利息・配当金収入	8,023
	雑収入	14,112
	借入金等収入	0
	前受金収入	1,148,732
	その他の収入	515,755
	資金収入調整勘定	△ 1,127,400
	前年度繰越支払資金	1,762,608
収入の部合計		4,772,720
支出の部	人件費支出	1,316,970
	教育研究経費支出	408,863
	管理経費支出	233,577
	借入金等利息支出	25,382
	借入金等返済支出	111,372
	施設関係支出	20,415
	設備関係支出	56,433
	資産運用支出	4,087
	その他の支出	497,273
	［予備費］	0
	資金支出調整勘定	△ 55,899
	翌年度繰越支払資金	2,154,247
支出の部合計		4,772,720

（単位：千円）

科目		平成26年度	平成25年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,128,933	2,016,830
	手数料収入	23,867	25,565
	寄付金収入	224	2,223
	補助金収入	26,853	26,096
	資産運用収入	5,575	17,188
	資産売却収入	5,016	150,000
	事業収入	26,000	23,974
	雑収入	3,476	3,314
	借入金等収入	0	0
	前受金収入	1,107,126	968,711
	その他の収入	428,777	510,997
	資金収入調整勘定	△ 976,884	△ 834,723
	前年度繰越支払資金	1,761,754	1,482,246
収入の部合計		4,540,717	4,392,421
支出の部	人件費支出	1,284,730	1,229,074
	教育研究経費支出	347,165	309,439
	管理経費支出	222,462	224,199
	借入金等利息支出	27,252	30,658
	借入金等返済支出	111,372	116,467
	施設関係支出	2,962	147,639
	設備関係支出	15,102	48,791
	資産運用支出	4,423	54,653
	その他の支出	811,108	528,751
	資金支出調整勘定	△ 48,467	△ 59,004
	次年度繰越支払資金	1,762,608	1,761,754
支出の部合計		4,540,717	4,392,421

5 事業活動収支計算書（旧・消費収支計算書）

事業活動収支計算書

（単位：千円）

科目			平成27年度
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	2,295,395
		手数料	22,443
		寄付金	9,143
		経常費等補助金	96,701
		付随事業収入	27,208
		雑収入	14,112
		教育活動収入計	2,465,002
	支出の部	人件費	1,322,179
		教育研究経費	558,089
		管理経費	243,491
		徴収不能額等	0
		教育活動支出計	2,123,759
	教育活動収支差額		341,243
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	8,023
		その他の教育活動外収入	65,000
		教育活動外収入計	73,023
	支出の部	借入金等利息	25,382
		その他の教育活動外支出	2,667
		教育活動外支出計	28,049
	教育活動外収支差額		44,974
経常収支差額			386,217
特別収支	収入の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	3,988
		特別収入計	3,988
	支出の部	資産処分差額	400
		その他の特別支出	990
		特別支出計	1,390
	特別収支差額		2,598
［予備費］			0
基本金組入前当年度収支差額			388,815
基本金組入額合計			△ 157,395
当年度収支差額			231,420
前年度繰越収支差額			△ 103,609
基本金取崩額			0
翌年度繰越収支差額			127,811

（参考）

事業活動収入計	2,542,013
事業活動支出計	2,153,198

消費収支計算書

（単位：千円）

科目		平成26年度	平成25年度
収入の部	学生生徒等納付金	2,128,933	2,016,830
	手数料	23,867	25,565
	寄付金	224	2,856
	補助金	26,853	26,096
	資産運用収入	5,575	17,188
	資産売却差額	16	0
	事業収入	26,000	23,974
	雑収入	3,476	3,314
	帰属収入合計	2,214,944	2,115,823
	基本金組入額合計	△ 42,908	0
消費収入の部合計		2,172,036	2,115,823
支出の部	人件費	1,293,705	1,235,795
	教育研究経費	502,000	465,129
	管理経費	231,857	231,369
	借入金等利息	27,252	30,658
	資産処分差額	214	104,611
	徴収不能額	34,209	15,130
消費支出の部合計		2,089,237	2,082,692
当年度消費収入（支出）超過額		82,799	33,131

6 貸借対照表

（単位：千円）

資　産　の　部	
科　目	本年度末
固定資産	6,986,780
有形固定資産	6,229,254
特定資産	0
その他の固定資産	757,526
流動資産	2,207,189
資産の部合計	9,193,969
負　債　の　部	
科　目	本年度末
固定負債	1,398,831
流動負債	1,323,698
負債の部合計	2,722,529
純　資　産　の　部	
科　目	本年度末
基本金	6,343,629
第1号基本金	6,206,007
第2号基本金	0
第3号基本金	0
第4号基本金	137,622
繰越収支差額	127,811
純資産の部合計	6,471,440
負債及び純資産の部合計	9,193,969

（単位：千円）

資　産　の　部	
科　目	前年度末
固定資産	6,932,026
有形固定資産	6,308,983
その他の固定資産	623,043
流動資産	1,937,012
資産の部合計	8,869,038
負　債　の　部	
科　目	前年度末
固定負債	1,503,062
流動負債	1,283,351
負債の部合計	2,786,413
基　本　金　の　部	
科　目	前年度末
第1号基本金	6,048,612
第2号基本金	0
第3号基本金	0
第4号基本金	137,622
基本金の部合計	6,186,234
消費収支差額の部	
科　目	前年度末
翌年度繰越消費収入超過額	△ 103,609
消費収支差額の部合計	△ 103,609
科　目	前年度末
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	8,869,038

7 基本金

基本金の種類は、以下の4つに分類されています。

① 第1号基本金

学校法人が設立当初に取得した固定資産の価額又は新たな学校の設置や既設の学校の規模の拡大、教育の充実向上のために取得した固定資産の価額

② 第2号基本金

将来の固定資産の取得に充てるために、事前に計画的・段階的に積み立てる金銭等の資産の額

③ 第3号基本金

奨学基金、研究基金等の基金として継続的に保持・運用する金銭等の資産の額

④ 第4号基本金

恒常的に保持すべき資金として文部科学大臣が定める額

平成27年度（平成28年3月31日決算）は、第1号基本金が下記のとおり組み入れられました。

（単位：千円）

第1号基本金（今年度増減）	
土地	0
建物	0
構築物	20,254
教育研究機器備品	42,044
その他機器備品	932
教具	△ 1,817
図書	4,083
車両運搬具	0
ソフトウェア	241
借入金返済に伴う組入高	83,652
未払金支払による組入高	8,006
合　　計	157,395

基　本　金	
前期繰越高	6,186,234
第1号基本金	6,048,612
第4号基本金	137,622
当期組入高	157,395
第1号基本金	157,395
当期末残高	6,343,629
第1号基本金	6,206,007
第4号基本金	137,622

8 財産目録

（単位：千円）

科　　目	平成27年度末	
一　資産額		
（一）基本財産		6,986,780
1　土地		
（1）宝塚医療大学　校地	48,715.00㎡	452,000
（2）法人本部用地	147.12㎡	88,272
（3）平成医療学園専門学校　第一校舎校地	582.70㎡	98,403
（4）平成医療学園専門学校　第二校舎校地	663.19㎡	228,219
（5）なにわ歯科衛生専門学校　校地	474.99㎡	282,720
（6）横浜医療専門学校　校地	910.18㎡	526,920
（7）運動場用地	347.38㎡	170,000
計	51,840.56㎡	1,846,534
2　建物		
（1）宝塚医療大学　校舎	4,759.97㎡	788,404
（2）宝塚医療大学　講義室棟	4,439.63㎡	533,191
（3）宝塚医療大学　屋内体育施設	1,504.44㎡	188,892
（4）宝塚医療大学　学生棟	1,305.58㎡	197,109
（5）宝塚医療大学　守衛室	8.41㎡	4,241
（6）法人本部棟	869.07㎡	44,965
（7）看板		1,463
（8）平成医療学園専門学校　第一校舎	1,709.51㎡	232,692
（9）平成医療学園専門学校　第二校舎	2,002.50㎡	512,999
（10）なにわ歯科衛生専門学校　校舎	2,438.25㎡	436,015
（11）横浜医療専門学校　校舎	4,830.02㎡	969,055
計	23,867.38㎡	3,909,026
3　構築物		56,193
4　図書	22,367冊	113,286
5　教具・校具及び備品	8,376点	302,012
6　機械装置		1,375
7　車輌		828
8　ソフトウェア		5,174
9　保証金・敷金		27,692
10　有価証券		186,766
11　長期貸付金		513,372
12　保険積立金		24,500
13　出資金		1
14　預託金		21

（二）運用財産		2,207,189
1　預金・現金		2,154,247
（1）現金		3,668
（2）普通預金		2,095,564
（3）定期預金		55,015
2　有価証券（流動）		0
3　短期貸付金・立替金・預け金		18,409
4　不動産		0
5　貯蔵品		0
6　未収金		20,929
7　前払金		13,604
（三）収益事業用財産		0
合　　計		9,193,969
二　負債額		
1　固定負債		1,398,831
（1）長期借入金		1,322,487
商工中金		264,220
紀陽銀行		331,370
池田泉州銀行		132,475
りそな銀行		325,246
りそな銀行		269,176
（2）退職給与引当金		71,544
（3）長期未払金		4,800
2　流動負債		1,323,698
（1）短期借入金		111,372
（2）前受金		1,148,732
（3）未払金		45,890
（4）預り金		17,704
合　　計		2,722,529
三　借用財産		
1　土地	25.64㎡	601
2　建物	0.00㎡	0
合　　計		601

9 主な財務比率

比率名	算式（×100）	評価	比率
人件費比率	人件費 / 経常収入	低い方が良い	52.1%
人件費依存率	人件費 / 学生生徒等納付金	低い方が良い	57.6%
教育研究経費比率	教育研究経費 / 経常収入	高い方が良い	22.0%
管理経費比率	管理経費 / 経常収入	低い方が良い	9.6%
借入金等利息比率	借入金等利息 / 経常収入	低い方が良い	1.0%
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 / 事業活動収入	高い方が良い	15.3%
基本金組入後収支比率	事業活動支出 / 事業活動収入－基本金組入額	低い方が良い	90.3%
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 / 経常収入	どちらともいえない	90.4%
寄付金比率	寄付金 / 事業活動収入	高い方が良い	0.5%
経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金 / 経常収入	高い方が良い	0.4%
補助金比率	補助金 / 事業活動収入	高い方が良い	3.8%
経常補助金比率	教育活動収支の補助金 / 経常収入	高い方が良い	3.8%
基本金組入率	基本金組入額 / 事業活動収入	高い方が良い	6.2%
減価償却額比率	減価償却額 / 経常支出	どちらともいえない	7.5%
経常収支差額比率	経常収支差額 / 経常収入	高い方が良い	15.2%
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額 / 教育活動収入計	高い方が良い	13.8%

（注1）「経常収入」＝「教育活動収入計」＋「教育活動外収入計」

（注2）「経常支出」＝「教育活動支出計」＋「教育活動外支出計」

（注3）「経常収支差額」＝「経常収入」－「経常支出」

（注4）寄付金比率の「寄付金」には特別収支の「施設設備寄付金」及び「現物寄付」を含む。

（注5）補助金比率の「補助金」には特別収支の「施設設備補助金」を含む。

10 施設設備の整備状況

平成27年度の主な施設設備の整備状況については、以下のとおりです。

宝塚医療大学では、筋機能評価運動装置や三次元動作解析装置の導入、図書館入館ゲートの設置、街灯の増設、テニスコートの改修、グラウンドの防球ネットの設置を行いました。

平成医療学園専門学校では、学生用パソコンやプロジェクターの購入を行いました。

横浜医療専門学校では、温水洗浄便座の設置、蛍光灯のLEDへの交換、カーペット張替を行いました。

なにわ歯科衛生専門学校では、実験室へのモニターの設置、口腔ケアモデルの導入を行いました。